

平成18年度版～平成19年度版の改訂概要

平成18年度版				平成19年度版(太字:変更箇所)				変更内容	該当体系ツリー
掲載頁	旧細別(レベル4)名称	積算用単位	総括表用単位	掲載頁	新細別(レベル4)名称	積算用単位	総括表用単位		
1～3	掘削(土砂) 掘削(軟岩) 掘削(硬岩)	式 or m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	1～3	掘削(土砂) 掘削(軟岩) 掘削(硬岩)	式 or m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	<p>備考の記載の見直しにより下記の通り変更。 「仮置土は、仕様書で場所を明示するとともに、数量を表示した方が妥当で、検収可能な場合は数量を明示する。」</p> <p><b>「搬出土は、仕様書で場所・数量を明示する。」</b></p>	<p>「築堤・護岸」(レベル1)-「河川土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3) 「樋門・樋管」(レベル1)-「河川土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3) 「水門」(レベル1)-「河川土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3) 「排水機場」(レベル1)-「河川土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3) 「堰」(レベル1)-「河川土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3) 「床止め・床固め」(レベル1)-「河川土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3) 「河川修繕」(レベル1)-「河川土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3) 「堤防・護岸」(レベル1)-「海岸土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3) 「突堤・人工岬」(レベル1)-「海岸土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3) 「養浜」(レベル1)-「海岸土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3) 「砂防堰堤」(レベル1)-「砂防土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3) 「流路」(レベル1)-「砂防土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3) 「斜面对策」(レベル1)-「砂防土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3) 「道路改良」(レベル1)-「道路土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3) 「舗装」(レベル1)-「道路土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3) 「橋梁下部」(レベル1)-「道路土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3) 「トンネル(NATM)」(レベル1)-「道路土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3) 「コンクリートシェッド」(レベル1)-「道路土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3) 「鋼製シェッド」(レベル1)-「道路土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3) 「道路維持」(レベル1)-「道路土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3) 「道路修繕」(レベル1)-「道路土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3)</p>
								<p>歩掛改訂(歩掛廃止)によりトンネル(矢板)(レベル1)を廃止したため体系ツリーから削除。</p>	「トンネル(矢板)」(レベル1)-「道路土工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3)
10～11	法面整形(切土部) 法面整形(盛土部)	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	10～11	法面整形(切土部) 法面整形(盛土部)	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	同上	「トンネル(矢板)」(レベル1)-「道路土工」(レベル2)-「法面整形工」(レベル3)
13	残土処理	式 or m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	13	残土処理	式 or m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	同上	「トンネル(矢板)」(レベル1)-「道路土工」(レベル2)-「残土処理工」(レベル3)
26～27	路体(流用土) 路体(発生土) 路体(採取土) 路体(購入土)	式 or m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	26～27	路体(流用土) 路体(発生土) 路体(採取土) 路体(購入土)	式 or m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	同上	「トンネル(矢板)」(レベル1)-「道路土工」(レベル2)-「路体盛土工」(レベル3)
28～29	路床(流用土) 路床(発生土) 路床(採取土) 路床(購入土)	式 or m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	28～29	路床(流用土) 路床(発生土) 路床(採取土) 路床(購入土)	式 or m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	同上	「トンネル(矢板)」(レベル1)-「道路土工」(レベル2)-「路床盛土工」(レベル3)
70	鋼矢板	枚	枚	70	鋼矢板	枚	枚	<p>歩掛改訂により【用語の定義】に費用「敷鉄板設置・撤去費」「継施工費」を追加。</p>	<p>「築堤・護岸」(レベル1)-「護岸基礎工」(レベル2)-「矢板工」(レベル3) 「築堤・護岸」(レベル1)-「矢板基礎工」(レベル2)-「矢板工」(レベル3) 「樋門・樋管」(レベル1)-「樋門・樋管本体工」(レベル2)-「矢板工」(レベル3) 「水門」(レベル1)-「水門本体工」(レベル2)-「矢板工(遮水矢板)」(レベル3) 「排水機場」(レベル1)-「機場本体工」(レベル2)-「矢板工」(レベル3) 「排水機場」(レベル1)-「沈砂池工」(レベル2)-「矢板工」(レベル3) 「排水機場」(レベル1)-「吐出水槽工」(レベル2)-「矢板工」(レベル3) 「堰」(レベル1)-「可動堰本体工」(レベル2)-「矢板工」(レベル3) 「堰」(レベル1)-「固定堰本体工」(レベル2)-「矢板工」(レベル3) 「床止め・床固め」(レベル1)-「床止め工」(レベル2)-「矢板工」(レベル3) 「堤防・護岸」(レベル1)-「護岸基礎工」(レベル2)-「矢板工」(レベル3) 「突堤・人工岬」(レベル1)-「突堤本体工」(レベル2)-「矢板工」(レベル3) 「斜面对策」(レベル1)-「地下水遮断工」(レベル2)-「矢板工」(レベル3) 「橋梁下部」(レベル1)-「護岸基礎工」(レベル2)-「矢板工」(レベル3) 「橋梁下部」(レベル1)-「矢板護岸工」(レベル2)-「矢板工」(レベル3) 「全工種共通」(レベル1)-「仮設工」(レベル2)-「土留・仮締切工」(レベル3)</p>

平成18年度版～平成19年度版の改訂概要

平成18年度版				平成19年度版(太字:変更箇所)				変更内容	該当体系ツリー
掲載頁	旧細別(レベル4)名称	積算用単位	総括表用単位	掲載頁	新細別(レベル4)名称	積算用単位	総括表用単位		
115～116	止水板	m	m	115～116	止水板	m	m	歩掛改訂(歩掛廃止)によりトンネル(矢板)(レベル1)を廃止したため体系ツリーから削除。	「トンネル(矢板)」(レベル1)-「覆工」(レベル2)-「覆工コンクリート工」(レベル3)
140	集水桝	箇所	箇所	140	集水桝	箇所	箇所	同上	「トンネル(矢板)」(レベル1)-「坑内付帯工」(レベル2)-「地下排水工」(レベル3)
302	横断歩道橋架設	式 or t	t	302	横断歩道橋架設	式 or t	t	歩掛改訂により[用語の定義]に費用「アンカーフレーム据付費」「手摺設置費」を追加。	「鋼橋上部」(レベル1)-「歩道橋本体工」(レベル2)-「歩道橋架設工」(レベル3)
303	手摺	m	m	-	-	-	-	歩掛改訂により細別を削除。	同上
314	トンネル掘削	m	m	313	トンネル掘削	m	m	歩掛改訂(歩掛廃止)によりトンネル(矢板)(レベル1)を廃止したため体系ツリーから削除。	「トンネル(矢板)」(レベル1)-「トンネル掘削工」(レベル2)-「掘削工」(レベル3)
315	鋼製支保<単位:基>	基	基	-	-	-	-	歩掛改訂(歩掛廃止)によりトンネル(矢板)(レベル1)を廃止したため細別を削除。	「トンネル(矢板)」(レベル1)-「支保工」(レベル2)-「鋼製支保工」(レベル3)
316	覆工コンクリート	m	m	315	覆工コンクリート	m	m	歩掛改訂(歩掛廃止)によりトンネル(矢板)(レベル1)を廃止したため体系ツリーから削除。	「トンネル(矢板)」(レベル1)-「覆工」(レベル2)-「覆工コンクリート工」(レベル3)
317	補強鉄筋	t	t	316	補強鉄筋	t	t	同上	同上
317	型枠(妻部)	式 or m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	316	型枠(妻部)	式 or m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	同上	同上
318	足場(妻部)	式 or 掛m <sup>2</sup>	掛m <sup>2</sup>	317	足場(妻部)	式 or 掛m <sup>2</sup>	掛m <sup>2</sup>	同上	同上
319	床版コンクリート	m	m	318	床版コンクリート	m	m	同上	「トンネル(矢板)」(レベル1)-「覆工」(レベル2)-「床版コンクリート工」(レベル3)
320	インバート掘削	m	m	318	インバート掘削	m	m	同上	「トンネル(矢板)」(レベル1)-「インバート工」(レベル2)-「インバート掘削工」(レベル3)
320	インバート	m	m	319	インバート	m	m	同上	「トンネル(矢板)」(レベル1)-「インバート工」(レベル2)-「インバート本体工」(レベル3)
321	箱抜	箇所	箇所	319	箱抜	箇所	箇所	同上	「トンネル(矢板)」(レベル1)-「坑内付帯工」(レベル2)-「箱抜工」(レベル3)
321	裏面排水	m	m	320	裏面排水	m	m	同上	「トンネル(矢板)」(レベル1)-「坑内付帯工」(レベル2)-「裏面排水工」(レベル3)
321	湧水処理	箇所	箇所	320	湧水処理	箇所	箇所	同上	同上
322	中央排水	m	m	320	中央排水	m	m	同上	「トンネル(矢板)」(レベル1)-「坑内付帯工」(レベル2)-「地下排水工」(レベル3)

平成18年度版～平成19年度版の改訂概要

平成18年度版				平成19年度版(太字:変更箇所)				変更内容	該当体系ツリー
掲載頁	旧細別(レ^\#4)名称	積算用単位	総括表用単位	掲載頁	新細別(レ^\#4)名称	積算用単位	総括表用単位		
322	横断排水	箇所	箇所	321	横断排水	箇所	箇所	同上	同上
331	裏込注入	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	329	裏込注入	m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>	同上	「トンネル(矢板)」(レ^\#1)-「覆工」(レ^\#2)-「裏込注入工」(レ^\#3)
422	足場<単位:掛m <sup>2</sup> >	式 or 掛m <sup>2</sup>	掛m <sup>2</sup>	420	足場<単位:掛m <sup>2</sup> >	式 or 掛m <sup>2</sup>	掛m <sup>2</sup>	歩掛改訂により <b>図「足場の組立例」を変更。</b>	「築堤・護岸」(レ^\#1)-「擁壁護岸工」(レ^\#2)-「場所打擁壁工」(レ^\#3) 「樋門・樋管」(レ^\#1)-「樋門・樋管本体工」(レ^\#2)-「函渠工」(レ^\#3) 「樋門・樋管」(レ^\#1)-「樋門・樋管本体工」(レ^\#2)-「翼壁工」(レ^\#3) 「樋門・樋管」(レ^\#1)-「水路工」(レ^\#2)-「樋門接続暗渠工」(レ^\#3) 「水門」(レ^\#1)-「水門本体工」(レ^\#2)-「床版工」(レ^\#3) 「水門」(レ^\#1)-「水門本体工」(レ^\#2)-「堰柱工」(レ^\#3) 「水門」(レ^\#1)-「水門本体工」(レ^\#2)-「門柱工」(レ^\#3) 「水門」(レ^\#1)-「水門本体工」(レ^\#2)-「ゲート操作台」(レ^\#3) 「水門」(レ^\#1)-「水門本体工」(レ^\#2)-「胸壁工」(レ^\#3) 「水門」(レ^\#1)-「水門本体工」(レ^\#2)-「翼壁工」(レ^\#3) 「排水機場」(レ^\#1)-「機場本体工」(レ^\#2)-「本体工」(レ^\#3) 「排水機場」(レ^\#1)-「機場本体工」(レ^\#2)-「燃料貯油槽工」(レ^\#3) 「排水機場」(レ^\#1)-「沈砂池工」(レ^\#2)-「場所打擁壁工」(レ^\#3) 「排水機場」(レ^\#1)-「沈砂池工」(レ^\#2)-「場所打水路工」(レ^\#3) 「排水機場」(レ^\#1)-「吐出水槽工」(レ^\#2)-「本体工」(レ^\#3) 「堰」(レ^\#1)-「可動堰本体工」(レ^\#2)-「オープンゲート基礎工」(レ^\#3) 「堰」(レ^\#1)-「可動堰本体工」(レ^\#2)-「ニューマチックゲート基礎工」(レ^\#3) 「堰」(レ^\#1)-「可動堰本体工」(レ^\#2)-「床版工」(レ^\#3) 「堰」(レ^\#1)-「可動堰本体工」(レ^\#2)-「堰柱工」(レ^\#3) 「堰」(レ^\#1)-「可動堰本体工」(レ^\#2)-「門柱工」(レ^\#3) 「堰」(レ^\#1)-「可動堰本体工」(レ^\#2)-「ゲート操作台」(レ^\#3) 「堰」(レ^\#1)-「可動堰本体工」(レ^\#2)-「開門工」(レ^\#3) 「堰」(レ^\#1)-「可動堰本体工」(レ^\#2)-「土砂吐工」(レ^\#3) 「堰」(レ^\#1)-「可動堰本体工」(レ^\#2)-「取付擁壁工」(レ^\#3) 「堰」(レ^\#1)-「固定堰本体工」(レ^\#2)-「オープンゲート基礎工」(レ^\#3) 「堰」(レ^\#1)-「固定堰本体工」(レ^\#2)-「ニューマチックゲート基礎工」(レ^\#3) 「堰」(レ^\#1)-「固定堰本体工」(レ^\#2)-「堰本体工」(レ^\#3) 「堰」(レ^\#1)-「固定堰本体工」(レ^\#2)-「土砂吐工」(レ^\#3) 「堰」(レ^\#1)-「固定堰本体工」(レ^\#2)-「取付擁壁工」(レ^\#3) 「堰」(レ^\#1)-「魚道工」(レ^\#2)-「魚道本体工」(レ^\#3) 「床止め・床固め」(レ^\#1)-「床止め工」(レ^\#2)-「本体工」(レ^\#3) 「床止め・床固め」(レ^\#1)-「床止め工」(レ^\#2)-「取付擁壁工」(レ^\#3) 「床止め・床固め」(レ^\#1)-「床固め工」(レ^\#2)-「本堤工」(レ^\#3) 「床止め・床固め」(レ^\#1)-「床固め工」(レ^\#2)-「垂直壁工」(レ^\#3)

平成18年度版～平成19年度版の改訂概要

平成18年度版				平成19年度版(太字:変更箇所)				変更内容	該当体系ツリー
掲載頁	旧細別(レバ)4)名称	積算単 位	総括表用 単位	掲載頁	新細別(レバ)4)名称	積算単 位	総括表用 単位		
422	足場<単位:掛m <sup>2</sup> >	式 or 掛m <sup>2</sup>	掛m <sup>2</sup>	420	足場<単位:掛m <sup>2</sup> >	式 or 掛m <sup>2</sup>	掛m <sup>2</sup>	歩掛改訂により図「足場の組立例」を変更。	「床止め・床固め」(レバ)1)-「床固め工」(レバ)2)-「側壁工」(レバ)3) 「床止め・床固め」(レバ)1)-「山留擁壁工」(レバ)2)-「コンクリート擁壁工」(レバ)3) 「河川維持」(レバ)1)-「構造物補修工」(レバ)2)-「ウラツク補修工」(レバ)3) 「河川維持」(レバ)1)-「構造物補修工」(レバ)2)-「ホ-リングクラフト工」(レバ)3) 「堤防・護岸」(レバ)1)-「擁壁工」(レバ)2)-「場所打擁壁工」(レバ)3) 「堤防・護岸」(レバ)1)-「排水構造物工」(レバ)2)-「場所打水路工」(レバ)3) 「突堤・人工岬」(レバ)1)-「突堤本体工」(レバ)2)-「ケ-ソン工」(レバ)3) 「突堤・人工岬」(レバ)1)-「突堤本体工」(レバ)2)-「セムラ-工」(レバ)3) 「海域堤防」(レバ)1)-「海域堤本体工」(レバ)2)-「ケ-ソン工」(レバ)3) 「海域堤防」(レバ)1)-「海域堤本体工」(レバ)2)-「セムラ-工」(レバ)3) 「砂防堰堤」(レバ)1)-「コンクリート堰堤工」(レバ)2)-「コンクリート側壁工」(レバ)3) 「砂防堰堤」(レバ)1)-「鋼製堰堤工」(レバ)2)-「鋼製側壁工」(レバ)3) 「砂防堰堤」(レバ)1)-「鋼製堰堤工」(レバ)2)-「コンクリート側壁工」(レバ)3) 「流路」(レバ)1)-「流路護岸工」(レバ)2)-「コンクリート擁壁工」(レバ)3) 「流路」(レバ)1)-「床固め工」(レバ)2)-「床固め本体工」(レバ)3) 「流路」(レバ)1)-「床固め工」(レバ)2)-「垂直壁工」(レバ)3) 「流路」(レバ)1)-「床固め工」(レバ)2)-「側壁工」(レバ)3) 「斜面対策」(レバ)1)-「擁壁工」(レバ)2)-「場所打擁壁工」(レバ)3) 「斜面対策」(レバ)1)-「擁壁工」(レバ)2)-「落石防護工」(レバ)3) 「斜面対策」(レバ)1)-「地下水遮断工」(レバ)2)-「場所打擁壁工」(レバ)3) 「斜面対策」(レバ)1)-「抑止杭工」(レバ)2)-「ジャブ工(深礎工)」(レバ)3) 「道路改良」(レバ)1)-「擁壁工」(レバ)2)-「場所打擁壁工」(レバ)3) 「道路改良」(レバ)1)-「カルハ-ト工」(レバ)2)-「場所打函渠工」(レバ)3) 「道路改良」(レバ)1)-「落石雪害防止工」(レバ)2)-「落石防護柵工」(レバ)3) 「橋橋上部」(レバ)1)-「歩道橋本体工」(レバ)2)-「橋脚フーチング工」(レバ)3) 「橋梁下部」(レバ)1)-「橋台工」(レバ)2)-「深礎工」(レバ)3) 「橋梁下部」(レバ)1)-「橋台工」(レバ)2)-「オフンケ-ソソ基礎工」(レバ)3) 「橋梁下部」(レバ)1)-「橋台工」(レバ)2)-「ニューマチックケ-ソソ基礎工」(レバ)3) 「橋梁下部」(レバ)1)-「橋台工」(レバ)2)-「橋脚躯体工」(レバ)3) 「橋梁下部」(レバ)1)-「RC橋脚工」(レバ)2)-「深礎工」(レバ)3) 「橋梁下部」(レバ)1)-「RC橋脚工」(レバ)2)-「オフンケ-ソソ基礎工」(レバ)3) 「橋梁下部」(レバ)1)-「RC橋脚工」(レバ)2)-「ニューマチックケ-ソソ基礎工」(レバ)3) 「橋梁下部」(レバ)1)-「RC橋脚工」(レバ)2)-「橋脚躯体工」(レバ)3) 「橋梁下部」(レバ)1)-「鋼製橋脚工」(レバ)2)-「深礎工」(レバ)3) 「橋梁下部」(レバ)1)-「鋼製橋脚工」(レバ)2)-「オフンケ-ソソ基礎工」(レバ)3) 「橋梁下部」(レバ)1)-「鋼製橋脚工」(レバ)2)-「ニューマチックケ-ソソ基礎工」(レバ)3) 「橋梁下部」(レバ)1)-「鋼製橋脚工」(レバ)2)-「橋脚架設工」(レバ)3) 「橋梁下部」(レバ)1)-「擁壁護岸工」(レバ)2)-「場所打擁壁工」(レバ)3) 「トンネル(NATM)」(レバ)1)-「坑門工」(レバ)2)-「坑門本体工」(レバ)3) 「トンネル(NATM)」(レバ)1)-「坑門工」(レバ)2)-「明り巻工」(レバ)3) 「コンクリートシールド」(レバ)1)-「フレキストシールド下部工」(レバ)2)-「深礎工」(レバ)3) 「コンクリートシールド」(レバ)1)-「フレキストシールド下部工」(レバ)2)-「受台工」(レバ)3) 「コンクリートシールド」(レバ)1)-「フレキストシールド上部工」(レバ)2)-「架設工」(レバ)3) 「コンクリートシールド」(レバ)1)-「フレキストシールド上部工」(レバ)2)-「横締め工」(レバ)3) 「コンクリートシールド」(レバ)1)-「RCシールド工」(レバ)2)-「深礎工」(レバ)3) 「鋼製シールド」(レバ)1)-「鋼製シールド下部工」(レバ)2)-「深礎工」(レバ)3) 「鋼製シールド」(レバ)1)-「鋼製シールド下部工」(レバ)2)-「受台工」(レバ)3) 「地下横断歩道」(レバ)1)-「現場打構築工」(レバ)2)-「現場打躯体工」(レバ)3) 「地下横断歩道」(レバ)1)-「現場打構築工」(レバ)2)-「カラ-継手工」(レバ)3) 「地下横断歩道」(レバ)1)-「現場打構築工」(レバ)2)-「防水工」(レバ)3) 「地下駐車場」(レバ)1)-「構築工」(レバ)2)-「躯体工」(レバ)3) 「地下駐車場」(レバ)1)-「構築工」(レバ)2)-「防水工」(レバ)3) 「共同溝」(レバ)1)-「現場打構築工」(レバ)2)-「現場打躯体工」(レバ)3) 「共同溝」(レバ)1)-「現場打構築工」(レバ)2)-「カラ-継手工」(レバ)3) 「共同溝」(レバ)1)-「現場打構築工」(レバ)2)-「防水工」(レバ)3) 「道路維持」(レバ)1)-「擁壁工」(レバ)2)-「場所打擁壁工」(レバ)3) 「道路維持」(レバ)1)-「カルハ-ト工」(レバ)2)-「場所打函渠工」(レバ)3) 「道路修繕」(レバ)1)-「擁壁工」(レバ)2)-「場所打擁壁工」(レバ)3) 「道路修繕」(レバ)1)-「カルハ-ト工」(レバ)2)-「場所打函渠工」(レバ)3) 「道路修繕」(レバ)1)-「落石雪害防止工」(レバ)2)-「落石防護柵工」(レバ)3) 「道路修繕」(レバ)1)-「橋脚巻立て工」(レバ)2)-「RC橋脚鋼板巻立て工」(レバ)3) 「道路修繕」(レバ)1)-「橋脚巻立て工」(レバ)2)-「橋脚コンクリート巻立て工」(レバ)3)

平成18年度版～平成19年度版の改訂概要

平成18年度版				平成19年度版(太字:変更箇所)				変更内容	該当体系ツリー
掲載頁	旧細別(レベル4)名称	積算用単位	総括表用単位	掲載頁	新細別(レベル4)名称	積算用単位	総括表用単位		
445	H鋼杭	式 or 本	本	443	H鋼杭	式 or 本	本	歩掛改訂により[用語の定義]に費用「導枠及び導杭設置・撤去費」「敷鉄板設置・撤去費」「継施工費」を追加。	「全工種共通」(レベル1)-「仮設工」(レベル2)-「土留・仮締切工」(レベル3)
480	見学用ステージ	式	式	-	-	-	-	歩掛改訂により細別を削除。	「共通仮設」(レベル1)-「共通仮設費」(レベル2)-「イメージアップ経費」(レベル3)
480	見学路用擬似階段	式	式	-	-	-	-	歩掛改訂により細別を削除。	同上
481	見学者専用駐車場	式 or m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	-	-	-	-	歩掛改訂により細別を削除。	同上
481	敷石	式 or m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	-	-	-	-	歩掛改訂により細別を削除。	同上
481	インフォメーション施設	式	式	-	-	-	-	歩掛改訂により細別を削除。	同上
-	-	-	-	478	<b>イメージアップ(積上計上)</b>	<b>式</b>	<b>式</b>	新規歩掛改訂により細別を新規追加。	同上